

2020年1月14日

第44回日本陸上競技連盟トレーナー研修会報告書

先日開催されました日本陸上競技連盟トレーナー研修会についてご報告いたします。

記

1. 日時 2020年1月11日(土)
2. 場所 味の素ナショナルトレーニングセンター イースト2階会議室A~C
バレーボールコート
3. プログラム
トレーナー部総会
「アンチ・ドーピングの最新情報」
山澤文裕先生(日本陸連医事委員長・丸紅健康開発センター)
「世界選手権大会活動報告」
砂川祐輝トレーナー(日本陸連トレーナー部部員・株式会社Lehua)
講義 「TOKYO2020の陸上競技会における救護活動体制」
加藤 基(日本陸連トレーナー部委員・帝京大学)
実技 「陸上競技会における救護活動シミュレーション」
日本陸連トレーナー部委員

4. 内容

トレーナー部総会は岩本部長の挨拶から始まり、前半に日本陸連医事委員長の山澤先生からアンチ・ドーピングについての歴史や昨今話題のサプリメントのとらえ方や事例の紹介を交えながら、トレーナーが理解すべきアンチ・ドーピングの知識や規則、そして薬とサプリメントの情報確認方法などについて詳細に解説をして頂きました。後半では砂川トレーナーから世界選手権大会の活動報告として、暑熱環境対策やコンディションチェック、パーソナルトレーナーとの連携、深夜競技対策について現場の状況が分かる多くの写真を示しながら説明して頂きました。



講義では、加藤委員から陸上競技会における救護活動体制について、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた計画、そして救護活動全般における重要な項目や心構えなどトレーナーの共通認識が高まる内容について説明して頂きました。実技では、ヒューマンキャリー、スパインボードを用いた搬送、陸上競技会におけるシミュレーションのそれぞれについて実践とフィードバックを繰り返し行いました。日本の陸上競技会における救護体制の充実化に向けて理解と技術のどちらも深める機会となりました。



以上